

良好な対人関係の形成に課題を持つ生徒が直面する進路選択に対する支援について

キーワード：特別支援教育、知的障害特別支援学校高等部、進路支援、障害分類

研究目的

- ①知的障害特別支援学校高等部卒業生のうち「良好な対人関係の形成に課題を持つ生徒」に対する支援を検討する。
- ②各障害分類ごとの進路先や卒業後数年を経た事例について検討することで在学中に必要となる支援について検討を行う。

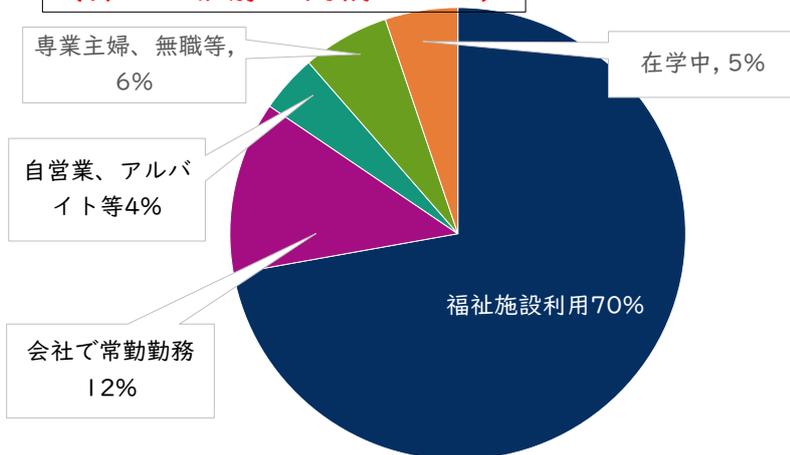
研究方法

- ASD、SLD、ADHD、DS、AD等各障害分類ごとの進路状況の実態を明らかにする。
- 現役で働いている卒業生に対して卒業時点での進路先と現在の勤務先についてのアンケートを実施し、その変化についてと、それらを引き起こす個々の要因について検討する。

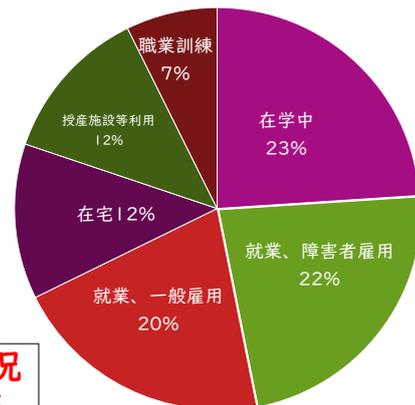
各障害分類について

障害分類	出典元	定義
自閉スペクトラム症 (Autism Spectrum Disorder: ASD)	傳田 (2017)	社会的コミュニケーションおよび対人相互性反応の障害、興味の限局と常同的・反復的行動を主徴とし、乳幼児期に発現する精神発達遅滞の障害である。
学習障害 (Specific Learning Disorder: SLD) (Learning Disorder: LD)	文部科学省 (DSM5 に由来 2013)	基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではない。
注意欠陥多動性障害 (Attention Deficit/Hyperactivity Disorder: ADHD)	文部科学省 (2003)	年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び/又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。また、7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。
ダウン症候群 (Down Syndrome: DS)	竹井・今枝・鳥雲・菅野 (2016)	知的障害のある者のうち、染色体異常によってもたらされる症候群の一つである。性格・行動特性としては、「愛嬌がある」、「音楽が好き」、「人懐っこい」、「優しい」、「頑固である」、「こだわりが強い」などの特徴が挙げられる。
愛着障害 (Attachment Disorder: AD)	Zeanah and Gleason (2015), Lehmann et al. (2013), Minnis et al. (2013), Kocovska et al. (2012)	幼少期に虐待やネグレクトなどを受けることによって正しいアタッチメント (愛着) が形成されないと、その後適切な人間関係を結ぶことがなくなるアタッチメント障害を発症することがある。アタッチメント障害とは、乳幼児期に長期にわたって虐待を受けたり、両親の死やその他の要因で養育者と安定した関係が結ばなかったりして、保護者との愛着関係を結ぶことができなくなることで引き起こされる障害の総称である。

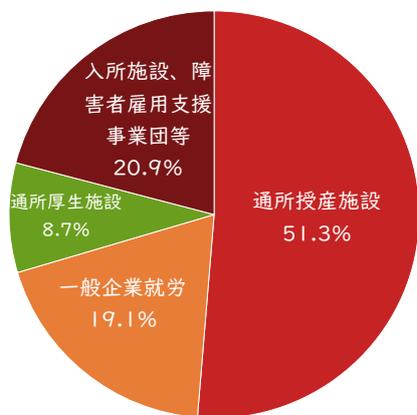
ASD児の進路支援の状況 (神田・伊藤・高橋 2018)



各障害分類ごとの進路状況



LD児の進路支援の状況 全国LD親の会、2006



なお、ADHD児とAD児については、今年度はこれらに特化した有効なデータが現在のところ見つからないため、引き続き調査を行う。

考察

各障害分類により進路支援の状況や、進路先についても大きな違いが生じていることが明らかになった。その一方で、統計データが乏しい障害種も存在しているため、今年度実施できなかったアンケートと合わせて実施が来年度以降の課題となる。

DS児の進路支援の状況 (高野・高木 2011)

引用・参考文献 (主なものを抜粋)

- 中央教育審議会 (2011) 今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について (答申)
- 文部科学省 (2015) 特別支援教育の現状と課題 教育課程企画特別部会 資料3-3
- 障害者職業総合センター (2009) 発達障害者の就労支援の課題に関する研究 調査研究報告書No.88 3